

「あこがれの自分を目指して ～共に歩む！ 一人でも翔ぶ～」

平成29年度 柳津町立西山中学校

学校だより

平成29年8月25日(金)発行 第 18 号

今日から2学期

西山ブランドの一層の発揮を

長い夏休みが終わり、今日から2学期を開始いたします。活動の充実に向け、ご協力をお願いいたします。

西山中学校の夏休みのテーマは「夏に鍛える！」ですが、そのことば通り生徒たちは夏休みとは思えないほどの活動をしてくれました。早朝からの駅伝練習、合唱練習、部活動、そして英語弁論の練習と、とても夏休みとは思えない毎日を過ごし、多くの成果を上げてくれました。

7月30日には奥会津グローバルセミナーに参加して国際感覚を磨き、合唱では8月7日に若松三中与合同練習、18日には前福島大学教授の竹澤嘉明先生のご指導をいただき、22日のコンクールでは昨年に引き続き、12名で見事優良賞を受賞することができました。生徒諸君の夏のがんばりに心から賞賛を送りたいと思います。

始業式では、これまで先輩が築いてきた西山中学校ブランドに一層磨きをかけようと話をしました。生徒たちの奮起に期待します。

明日は「校舎で楽しもう会」

明日26日は、PTA主催の「校舎で楽しもう会」です。

昭和53年に現校舎が建てられてから39年間にわたって多くの同窓生をはぐくんできた校舎に宿泊し、感謝するとともに、思い出作りの一環とするものです。保護者の皆様のご協力もよろしくお願いいたします。



平成29年度第2学期始業式式辞

平成29年8月24日

長い休みが終わりました。いよいよ今日から2学期が始まります。

この夏休みは合唱や駅伝、英語弁論に加えてバドミントンの練習…と、皆さんは夏休みにもかかわらず、本当によく活動してくれたと思います。22日の合唱コンクールでは、残念ながら県大会出場は逃したものの、見事2年連続で優良賞に輝くなど、大変すばらしい成果を収めることができました。

合唱コンクールでは、県大会に行けなかったためか、それほどうれしくない、という表情が若干感じられたのが少し残念です。もっと自分のやってきたことに自信を持ちましょう。もし反省点があるのだとしたら、2学期、この経験をぜひ生かしてください。



日米通算4000本安打を記録し、現在も現役で活躍している米大リーグのイチロー選手は、4000本安打を打ったときに、

『いい結果を生んできたことを誇れる訳ではない。4000本のヒットを打つために、8000回以上は悔しい思いをしてきている。そのことと常に、自分なりに向き合ってきたことが事実なので、誇れるとしたらそこではないかと思う』

と言っています。

どんなに努力しても、勝てなくて負ける、成功できず失敗することがあります。負けても、失敗しても、それを乗り越える努力と勇気、そしてやる気が必要なのです。

生徒の皆さん、長い長い2学期が始まりますが、「高い志をもつ」「あこがれの自分を目指す」ことを忘れないでほしいと思います。

さて、みなさんにお願ひがあります。

2学期には文化祭などの大きな行事があります。2学期の行事には、学校外の多くの人との出会いがあります。それらの行事を通して、西山中学校としての誇りを持ってブランドを高めるよう取り組んでもらいたいと思います。

私は西山中学校の校長として5年目です。この間に、西山中学校のブランドそのものといえる多くの先輩を見てきました。ある先輩は進学後ある部のキャプテンに選ばれ部を全国大会に導きました。学校の代表として海外派遣された先輩もいます。入学生代表として誓いのことばを述べた先輩も2人いました。誰からも愛され、応援される生徒であり、さわやかに、あこがれの自分を求めてひたむきに努力する西山の生徒だからこそ選ばれ、活躍しているのだと思います。

今年は、これらに加えて、仲間内で慰め合うのではなく「一人でも翔ぶ」強さを持った生徒を求めています。統合しても進学しても、周りの雰囲気流されるのではなく自分の強さを持ち続け、正しいと思うことを一人でもやり遂げる生徒になってほしいからです。

では、どうするか…

それは当たり前のことを当たり前に、心をこめて行うことです。

そのために、手始めにあいさつを充実させてみましょう。「していない」とはいいません。でも、ふと気がつくと、5年の間に声の大きさが様変わりしているような気がします。部活動のあいさつは上手ですが、一人の時のあいさつは、聞こえなかったり、黙って通り過ぎるような場面を見ることが多くなってきたような気がします。

あいさつを充実させたら、その上で、西山中ブランドとして今やるべきことは何なのかを考え、形だけでなく、何のためにするのか、どのような姿を目指すのかを常に考えながら2学期の諸活動に取り組みましょう。そうした一つ一つの積み重ねが、進学後、統合後の西山中学校の生徒らしい活躍につながります。

健康に気を付け、常に自分の目標に向かって、自らを鍛える2学期にしていきましょう。